

市町村合併

③

みんなで考えたい

市町村合併は行政側だけの問題ではありません。
みなさんも、合併の是非や枠組み、
まちづくりについて議論しましょう！

会見町では住民説明会を開催しています。 ← 議論のチャンスです！

市町村や議会からの提案

市町村間の話合いのスタート

- 2つの勉強会等による報告書が作成されました。
- 西部地域振興協議会合併問題等勉強会
(西部圏域14市町村)
 - 西部4町合併問題研究会
(会見町、西伯町、岸本町、清口町)

住民からの提案

合併が必要と感じたら

市町村長に対して法定協議会の設置を直接請求
有権者の50分の1以上の署名が必要

全ての関係市町村議会で合併協議会設置についての議決

関係市町村で合併協議会設置

よりよい結論を出すために

住民の代表が協議会の委員となっている例があります。 ← 議論を深めましょう！
住民説明会や意見発表の機会が増えます。

合併協議会で決められる主なこと

- 新市(町村)の名前 ●新設合併か編入合併か ●合併する日 ●役所(場)の位置
- 住民サービスの水準 ●住民負担の水準 ●新しい街の設計図(市町村建設計画)

※計画の作成に当たっては、県知事との協議が必要です。作成後は、県及び国に送付します。

関係市町村の議会の議決

合併申請書の作成、申請

県の議会の議決

県知事による決定

合併の効力発生

総務大臣への届出及び同大臣の告示



▲住民説明会の様子

合併はゴールではありません。新しいまちの行政運営に参画しましょう！

住民説明会などの機会には、積極的に参加しましょう。安心して暮らせる豊かな未来のために、市町村のあり方について考えてみましょう。

市町村合併Q&A

① 合併すれば効率的になるといふのは本当ですか？
スケールメリットが期待できます。

② 面積等を勘案せず人口規模だけに若目すれば、人口規模が大きくなればスケールメリットが働き、行政効率が良いとなると一般的には言われています。その一方で重点的な投資が可能となり、地域の中心となる機能の充実した施設の整備や大規模な投資が可能となります。

③ 合併しないで広域組合でもよいのでは？
一つの選択肢ですが、多くの問題点も存在します。

④ 合併をしないで、広域連合や一部事務組合などの「広域組合」を活用することは一つの選択肢です。ただ、市町村と広域組合が併存することに伴い、意思決定が迅速に行いにくく、効率性に欠けたり、広域組合は主に構成市町村の負担金等で運営されており、各市町村の意向が強く反映されることから、主体的な行政運営を行っていく面もあります。さらに、住民等との関係が間接的になることにより、責任の所在が不明確になりやすいといった問題点もあります。

ふるさとの未来を。